

# 指導の実際

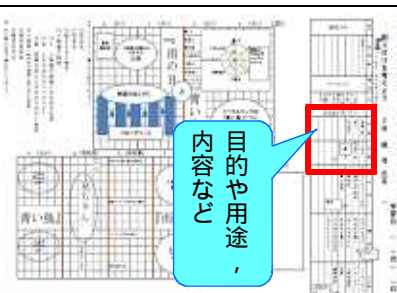
## 〔授業展開案4〕「人物紹介パンフレットを作ろう」

### 〔展開B〕 表現の工夫に関する知識・技能の習得を中心に展開

相手に分かりやすく伝えるための表現の工夫の中でも、効果的なキャッチコピーの理解と作成に重点的において指導を行った。

- 1 本時（5 / 9時）の指導目標
  - ・集めた情報を，作成するパンフレットの目的や意図に応じて，整理，編集させる。
  - ・図解や表現技法の特徴を知らせ，目的に応じて使えるようにする。

### 2 本時の展開B

過程	学習活動	指導の実際 生徒の主な反応	使用した教材等
導入	1 本時の目標と学習活動を確認する。	<p>学習計画表で，授業の流れを確認させ理解させた。 《本時の学習の流れ》 作成するパンフレットの目的や意図を確認する。 目的や意図に応じて，前時に集めた情報を整理，編集する。 目的や意図に応じて，割り付け(レイアウト)を考える。</p> <p>教科書の解説を参考にして話し合い，右図「学習計画表」の赤枠内に生徒自身に学習計画を書き込ませた。</p>	 <p>「学習計画表」</p>
	2 前時までに集めた「走れメロス」の登場人物についての情報を，作成するパンフレットの目的や意図に応じて，整理，編集する。	<p>ワークシートの記入例を利用してパンフレット(リーフレット)の作成目的，編集意図を確認させた。 自分が事前に考えて記入していた目的や用途，書く内容や構成などを，右図「ワークシート 記入例」を参考にしながら確認させた。 手元にあるワークシートと同じ形の記入例を用いたので，生徒の理解はスムーズだった。</p> <p>生徒の実態として，キャッチコピーを作成する経験がなかったため，紙面構成の中でも，特にキャッチコピーの表現の工夫について，具体例を示しながら説明を行った。</p> <p>《具体的にイメージさせる手順》 キャッチコピーの具体例を示し，身近にあるキャッチコピーで思い付くものを出し合わせる。 キャッチコピーには，主に「疑問提示型」「比喻表現型」「リズム重視型」「多義語活用型」などの型があることを知らせる。</p>	 <p>「ワークシート 記入例」</p>  <p>「具体例の提示」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・身近な具体例を示して，生徒が理解し，自分でも作ることができるようにした。</li> </ul>
展開			

3 作成するパンフレットの目的や意図に応じて、割り付け(レイアウト)を考える。

それぞれの型の特徴を説明し、それぞれの型の具体例を示す。このときに生徒から出された身近なキャッチコピーの例についても分類して示す。実際にキャッチコピーを作らせる。

身近な具体例を示すことで、生徒の理解は早く、例をまねることで自分でも作ることができていた。

リーフレットモデルとワークシートの記入例を対照させて、具体的にレイアウトの仕方をイメージさせた。その際イメージしやすいように、A4の用紙を実際に折ってみて考えさせるようにした。



「レイアウトをイメージする生徒」

多くの生徒が、実際に何種類の折り方を試してみても、自分の作りたいリーフレットに合う形を考えていた。生徒は試行錯誤する過程を楽しんでいた。



「ワークシート 記入例」

・リーフレットのレイアウト例を示した。

まとめ

4 本時の振り返りをし、次時の見通しをもつ。

グループで交流させた後、振り返りの欄に自己評価を記入させた。

生徒の記述より

- ・形は三つ折りにすることにした。レイアウトも決めることができた。
- ・レーダーチャートで妹の性格を表すことができた。

